

## JFIR 日米合同シンポジウム（オンライン開催）

「高まる台湾へのチャイナ・リスクとウクライナ戦争の影：問われる日米同盟戦略」  
のご案内

この度、日本国際フォーラム（JFIR）は、グローバル・フォーラムとの共催で、3月22日（火）に下記要領にて日米合同シンポジウム「高まる台湾へのチャイナ・リスクとウクライナ戦争の影：問われる日米同盟戦略」を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

ロシアによるウクライナ侵攻は、台湾問題にも影を落としています。中国の王毅外相は今年7日、台湾は常に中国の一部であり、ウクライナ問題とは異なった内政の問題であると述べ、台湾に対する中国の立場を強調し、日本の台湾問題に関する言動が日中関係に深刻な打撃を与えないよう忠告しました。日米欧が結束して対露制裁を行う中、中国は対露協調の姿勢を保ちつつ、仲裁の可能性も示しています。ウクライナ戦争は中台関係にどのような影響を与え、日米の対台湾姿勢や同盟戦略にどのような変化をもたらすのでしょうか。

当日は、セッション1「台湾をめぐるチャイナ・リスクと日米の対応」、セッション2「ウクライナ戦争の中台関係へのインパクト」に分かれて日米の専門家が登壇し、報告を行います。セッション1ではパトリシア・キム・ウッドロー・ウィルソン国際学術センターグローバルフェロー、ニコラス・セーチェーニ戦略国際問題研究所（CSIS）日本部副部長、佐橋亮・東京大学准教授、福田円・法政大学教授、大庭三枝・神奈川大学教授が登壇し、セッション2ではザック・クーパー・アメリカンエンタープライズ研究所シニア・フェロー、小谷哲男・明海大学教授、川島真 JFIR 上席研究員／東京大学教授、細谷雄一 JFIR 上席研究員／慶應義塾大学教授、ジェームズ・ショフ笹川平和財団米国シニア・ディレクターが登壇します。司会は神谷万丈 JFIR 副理事長／防衛大学校教授が務めます。

なお、本シンポジウムは、当フォーラムが2020年より神谷万丈主査の下でカーネギー国際平和財団と共同で実施している「『自由で開かれたインド太平洋時代』のチャイナ・リスクとチャイナ・オポチュニティ」研究会（<https://www.jfir.or.jp/studygroup/sg1/>）の一環として実施するものです。（なお、米国側実施主体は新年度よりアメリカンエンタープライズ研究所 [AEI] に変更予定です。）

## 記

1. 日時：2022年03月22日（火） 9時から11時まで（Zoom開室は8時50分から）
2. 開催形式：オンライン形式（Zoomウェビナー）
3. 参加費：無料
4. 使用言語：日本語と英語による同時通訳
5. プログラム案：[https://www.jfir.or.jp/220322\\_program/](https://www.jfir.or.jp/220322_program/)
6. 申込方法：webフォーム（<https://forms.gle/SxQYjsV95D8ci8xR6> ※上記QRコード）からアクセスするか、または、下記「出席回答用紙」に必要事項を必ずご記入の上、メール（[jfir@jfir.or.jp](mailto:jfir@jfir.or.jp)）またはFax（03-3589-5120）にて3月18日（金）までにお申し込み下さい。お申込みいただいた皆様には、会合前日までにメールにて、Zoom参加URL、パスワード等の詳細を送信いたします。



## 出席回答用紙（2022年3月22日（火）公開ウェビナー）

送信先：公益財団法人日本国際フォーラム事務局（担当：伊藤、佐藤）

問合せ先：[jfir@jfir.or.jp](mailto:jfir@jfir.or.jp) までお問合せください。

## 出席します

御芳名

御肩書

御連絡先（TEL）

（FAX）

E-mail

---